

SS 研システム技術分科会 2012 年度第 2 回会合

「クラウドの利用とセキュリティ」

～ SS 研会員、IS 研会員、CS 研会員機関の方ならどなたでもご参加いただけます ～

- 日時 : 2013 年 1 月 28 日(月) 分科会 13:30～17:40 (受付 13:00～) / 懇親会 17:55～19:00
- 場所 : 富士通株式会社 本社 24 階 大会議室 [東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター]
- 開催趣旨

2012 年度 2 回目のシステム技術分科会ではクラウド利用におけるセキュリティについて取り上げる。現在ではクラウドの利用は大学や研究機関でまたたく間に普及した。一方で、あまりにも急な普及によってその利用におけるセキュリティ対策や問題の理解が追い付いていない状況でもある。クラウドの利用で、特に外部サービスの利用時におけるセキュリティの問題の把握やその対策は非常に重要である。

本分科会では、まず、大学単位でクラウド環境に移行した事例とストレージサービスの外部サービスを導入した事例の紹介を通じて、クラウド利用におけるセキュリティの問題を現場から報告する。次に外部サービス利用時におけるクラウドのセキュリティの問題を法的な面からチュートリアル的に解説し、最後に最新のセキュリティの状況を総括する。

今回の分科会でも、クリッカーを活用し、講演の途中で講師によるクイズ形式の質問・アンケートを行なうことにより聴衆のニーズにあったダイナミックな講演を行なう予定である。

- **プログラム** (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。)

-敬称略-

13:00～	受付
13:30～13:40	開会あいさつ
13:40～13:50	クリッカーの使用方法説明
13:50～14:40 講演 40分 Q&A 10分	[1] 大学におけるクラウド活用 ～仮想集約化から学内クラウドと将来像～ 小糸 達夫 (関東学院大学) 関東学院大学では、2008 年より学内システムの更改を順次行ってきた。メールシステムの SaaS サービスへの移行を始め、物理サーバ約 60 台の仮想集約化、災害時における学生向けシステムの安定稼働を目的とした各種サーバのデータセンターへの移設、更には教員管理の外部公開サーバ等の設置要望に対応すべく、学内プライベートクラウド環境の余剰リソースを使い、セキュリティ面を考慮した仮想サーバ貸出サービス(2013 年 4 月提供開始予定)などのいくつかの試みを行っている。 これらの取り組みについて、大学の情報部門の職員という立場として、導入背景やメリット、デメリットなどについて解説するとともに、これからのクラウド活用についての方向性について紹介する。
14:40～15:30 講演 40分 Q&A 10分	[2] 教育システムの安全かつ快適なクラウドサービス利用について 柿本 昌範 (関西大学) 関西大学では、2012 年 9 月より、クラウドシステムを活用した教育システムの運用を開始した。本システムでは、データセンターを利用し、仮想化技術によるサーバの集約を行い、ファイルサービスにはクラウドシステムを導入した。また、本学キャンパスとデータセンター間には、SINET4 の L2VPN サービスを利用し、学内ネットワークと同等のセキュリティを確保している。 本講演では、導入経緯を交え、システムの特徴や今後の展開について紹介する。
15:30～15:50	休憩
15:50～16:40 講演 40分 Q&A 10分	[3] クラウドの利用にともなう法的問題点 森 亮二 (弁護士法人英知法律事務所) クラウドには、 ①海外の事業者によるサービス提供であることが多い。 ②データ等の管理はサービス提供者が行う。ユーザーは直接管理できない。 ③ベンダーは多数のユーザーに対して均一なサービスを提供する。 といった特徴がある。 これらの特徴のためにクラウドのユーザーは、①外国法の適用・外国裁判所における訴訟、②セキュリティレベルをベンダーに任せることのリスク、③ベンダーの約款 (SLA) の効力といった法的問題に直面することとなる。これらの法的問題について説明する。
16:40～17:30 講演 40分 Q&A 10分	[4] クラウド利用で何が変わるのか ～クラウド利用のメリットとセキュリティの確保について～ 高橋 正和 (日本マイクロソフト株式会社) クラウド利用は確実に普及しており、既に日常的な IT 利用においても欠かせないものとなっている。一方で、自組織の IT 環境をクラウドに展開する場合は、そのメリットを理解し、リスクと対策を十分に検討する必要がある。 本講演では、従来のシステムと比較したクラウドのメリット、セキュリティ上の留意点を解説し、想定される対策を紹介する。

17:30~17:40	閉会あいさつ
17:40~17:55	休憩 (ニュースレター編集会議・講演者/企画委員)
17:55~19:00	懇親会 (会費 ¥500) お飲物とおつまみの簡易パーティです。お気軽にご参加下さい。会費は当日受付にて申し受けます。

■ アクセス

汐留シティセンタービル オフィスロビー(1階)の会合受付経由で、24階の大会議室へお越し下さい。
<http://jp.fujitsu.com/facilities/shiodome/>

<<電車でのアクセス>>

- ・JR 新橋駅
汐留口(地下1階)から徒歩3分
- ・東京メトロ 銀座線 新橋駅
出口4(地下1階)から徒歩3分
- ・都営地下鉄 浅草線 新橋駅
汐留方面出口(地下1階)から徒歩2分
- ・都営地下鉄 大江戸線 汐留駅
JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口(地下2階)から徒歩1分
- ・新交通ゆりかもめ 新橋駅
出口1Dから徒歩1分

<<羽田空港から新橋駅までのアクセス>>

- ・東京モノレールとJR 山手線
羽田空港 から 浜松町 経由 新橋駅 (所要時間約30分)
- ・京浜急行と都営浅草線 (直通電車)
羽田空港 から 都営浅草線新橋駅 (所要時間約30分)



■ ご参加について

- 参加対象 : SS 研、CS 研、IS 研の各会員機関の方であれば、どなたでもご参加いただけます。
- 参加費 : 無料です。ただし、懇親会については 会費¥500 を申し受けます。
- 定員 : 100 名(予定)

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込み下さい。

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>



【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会 (SS 研) 事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

富士通 (株) カスタマーリレーション部内 (SS 研)

TEL : 03-6252-2582 (直通)

Email:office@sskn.gr.jp URL <http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>